

船引総合福祉センターの利用状況について アンケート調査結果

市政だより4月号「たむら財政危機」特集において、入浴できる福祉施設(類似4施設)の運営状況についてお示ししました。

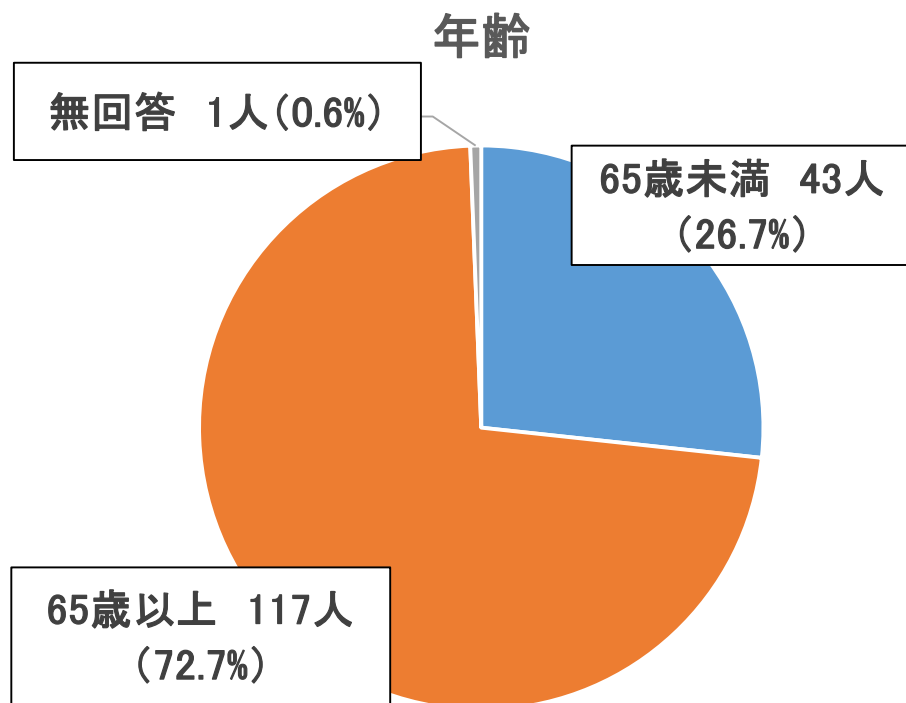
そのなかで財政負担が一番大きい「船引総合福祉センター」について、施設の利用状況など、現状を分析・把握することを目的として、身近に利用されている方々を対象としたアンケート調査を実施しました。

その結果についてお知らせします。【一部抜粋・要約】

- ①個人利用者
 - ②団体利用者
- 別にアンケートを実施。

調査結果① 「個人利用者」

調査対象者	施設来館者
調査回答人数	161人
調査方法	受付カウンター(窓口)にアンケート調査用紙と回収箱を設置。 施設利用後に調査への協力を依頼。
調査時期	平成30年3月15日から平成30年4月10日まで
条件	無記名回答



回答人数 合計 161人

滝根町	2人 (1.2%)
大越町	4人 (2.5%)
都路町	2人 (1.2%)
常葉町	32人 (19.9%)
船引町	104人 (64.6%)
市外	17人 (10.6%)

調査結果① 「個人利用者」

利用頻度

無回答 1人
(0.6%)

週4回以上 21人
(13%)

年数回 28人
(17.4%)

週2~3回 24人
(14.9%)

月1回 20人
(12.4%)

週1回 32人
(19.9%)

月2~3回 35人
(21.7%)

利用目的(複数回答可)

友人・仲間との交流
12人(7.3%)

その他 5人
(3%)

休憩 11人
(6.7%)

食事 14人
(8.5%)

入浴 122人
(74.4%)

利用するメリット(複数回答可)

低料金で利用できる
114人(46.9%)

風呂と休憩所がある
65人(26.7%)

自宅から近い 55人(22.6%)

その他 9人(3.7%)

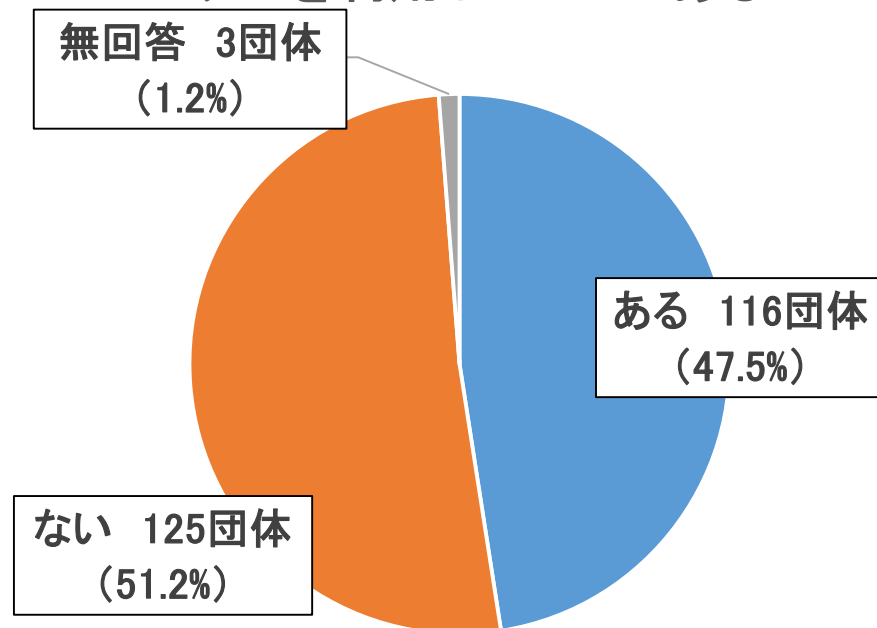
調査結果② 「団体利用者」

調査対象者	船引町管内行政区、船引町船引地区及び文珠地区行政組、船引町管内老人クラブ
調査回答団体数	244団体
調査方法	行政区回覧文書配布時における文書依頼(老人クラブは郵送)によるアンケート調査票の発送・回収
調査時期	平成30年3月15日から平成30年3月30日
条件	無記名回答

所属団体 合計 244団体

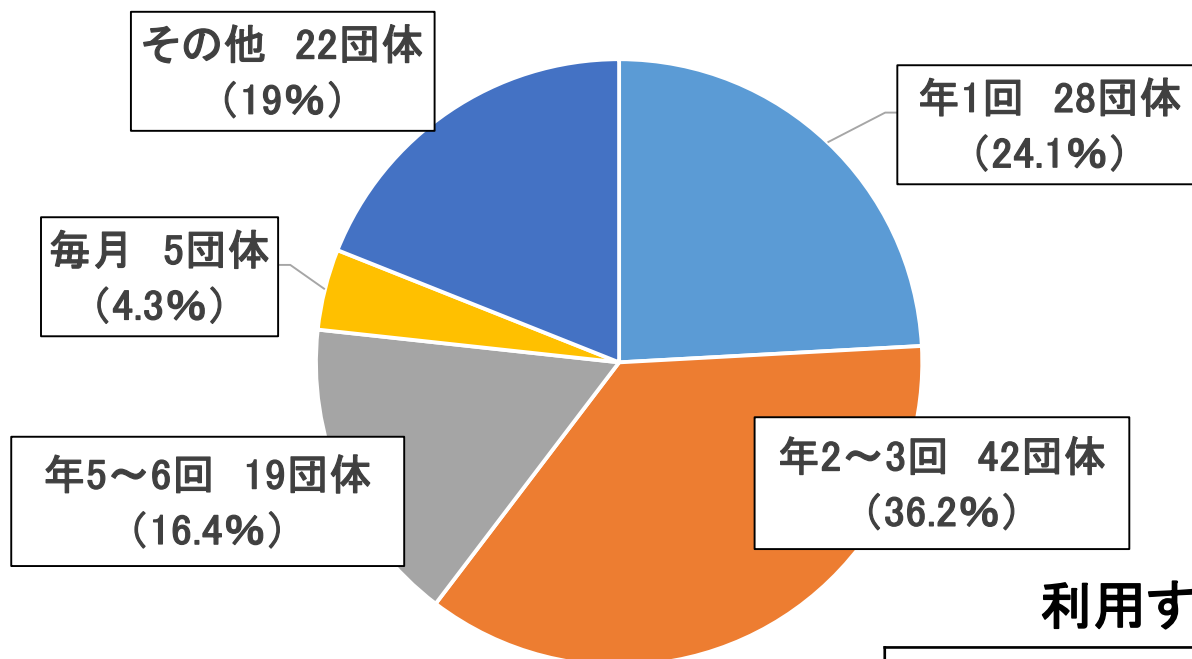
行政区・組	183団体 (75.0%)
老人クラブ	34団体 (13.9%)
無回答その他	27団体 (11.1%)

センターを利用したことがあるか



調査結果② 「団体利用者」

利用頻度(利用したことがある116団体)

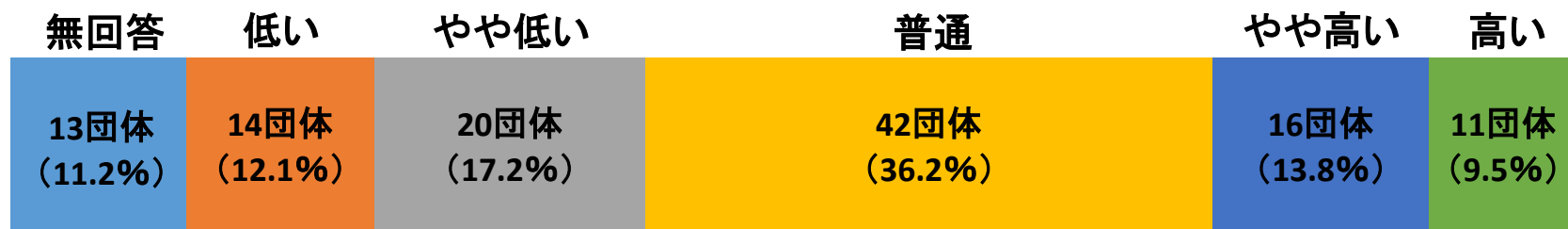


利用するメリット(複数回答可)

送迎バスがある	62団体(26.8%)
食事ができる	55団体(23.8%)
低料金で利用できる	53団体(22.9%)
風呂がある	45団体(19.5%)
その他	16団体(6.9%)

調査結果② 「団体利用者」

利用満足度(5段階評価)



今後の運営についての意見

施設の存続	24団体(29.6%)
施設の新築・改築	10団体(12.3%)
施設の廃止(閉館)	18団体(22.2%)
民間移譲・委託	8団体(9.9%)
その他	21団体(25.9%)

(意見 抜粋)

- ・近くに福祉施設がないと困る。
- ・会場として、近くて安いので助かる。
- ・老朽化しているので、改修してほしい。
- ・赤字が続くのでは、廃止もしかたない。
- ・民間会社を誘致してはどうか。
- ・イベントなど開いて、若い人たちの利用が増える工夫が必要。

◎ アンケート結果から

- 船引総合福祉センターは、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設として、また、低額な料金で、健康増進やレクリエーションのための便宜を総合的に供与する施設として、昭和49年の開館以来、市民の皆様には施設の利用に関して一定の評価をいただいているものと受取ることができました。
- その一方で、社会経済環境等の変化に伴う利用者ニーズの拡大・多様化、減少の一途をたどる施設利用者の状況、施設の運営状況及び市の財政負担の問題など、今後将来にわたり、市が直面する、解決すべき課題が山積していることも事実として存在します。
- 今回のアンケート調査結果を真摯に受け止め、市民の皆様が、真に望む、公共施設サービスのあり方について十分な検討を進めてまいります。
- 最後に、アンケート調査にご協力をいただきました皆様に改めて御礼と感謝を申し上げます。